

# 学校自慢

## 地域と共に生きる学校

柏市立柏の葉中学校校長 かとう さだひろ 加藤 定浩



### 1 はじめに

本校は、平成30年4月に、柏市では28年ぶり21校目の中学校として開校し、今年で4年目を迎える新しい学校である。生徒数は293名であり、教職員数は24名である。学区は柏の葉キャンパス駅を中心とした地域で、柏北部中央地区土地区画整理事業の進捗に伴う、人口増加に対応するため学校が建設された。本地区には、東京大学や千葉大学、科学警察研究所などの研究機関が集まっており、国際学術研究都市としての発展が期待されている。



学校教育目標は、「生きる力を育み 夢の実現に向けて 自ら考え行動する生徒の育成」である。校章は、柏の葉を2枚配し、中学校の「中」と柏市の鳥「オナガ」を組み合わせ、2枚の柏の葉を羽でつなぐことにより、子供たちが大きな世界へ羽ばたき、心豊かに活躍する姿を表現するとともに、子供たちの未来を育む学校を目指し、一体感と力強さをアピールしている。



### 2 小中連携教育

「生徒一人一人を活かし 地域と共に生きる学校」を基本コンセプトに、生徒に考えさせる生徒指導、生徒に考えさせる学習指導、地域と共に教育を創造する学校という教育方針を打ち出している。道路を挟んで隣接する柏の葉小学校とともにコミュニティスクールとして、地域と学校が協働し、地域全体で子育てを行う体制を整えている。また、空中通

路でつながれた小中一体型の校舎で小中連携教育を実践している。

これまで小中合同による行事や集会、中学生による本の読み聞かせ、小学校における英語の授業のアドバイスを中学校の英語科が行うなど実施してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年度より中断している状況である。今後、感染状況が改善した際の取組については、今までの取組に合わせ、小学校高学年から教科担任制を導入し、中学校の教職員を空き時間を利用し派遣する。また、中学校の部活動に小学校の教職員を派遣いただくなどの取組を行っていきたい。

### 3 コミュニティスクールの活動

#### (1)共有

家庭・地域・学校で、学校の課題や学校経営ビジョンなど、様々な情報を共有している。

#### (2)熟議

定期的に当事者が集まり、議論を重ねることで課題解決を目指し、それぞれの役割への理解を深めながら、多様な立場から解決策のアイデアを出し合っている。

#### (3)協働

共有された目的・目標に向かい、生徒に関わる多くの人々の協働により、学校運営の充実、改善につなげている。

### 4 おわりに

これからも、「柏の葉には、いつも新しい風が吹いている」という本校のキャッチフレーズの下、生徒・教職員が一体となって、常に前を向き、様々なことに挑戦しながら、保護者や地域の皆様と手を携えて学校づくりを進めていきたい。